



藝大は世界に伍して発展する 新たな芸術の総合大学を目指します。

東京藝術大学では、創設以来一〇〇有余年にわたる本学の芸術教育の伝統と実績を継承しつつ、二十一世紀の芸術文化をより輝かしいものに発展させる

ため、平成十六年度の国立大学の法人化を契機として、新たな芸術の創生を目指し、「藝大ルネッサンス2005 2006」事業を立ち上げました。

藝大ルネッサンス2005 2006

事業概要

社会に開かれた大学としての展開

一 産業界や地域のニーズに対応した創作・研究の推進

産業界や地域など大学外のニーズを幅広く受け止める体制作りを進め、こつしたニーズに対応した創作・研究を推進し、社会に貢献する。このため、大学付属の研究センターとして、アートデザインセンター、伝統工芸・地場産業振興センターなどを新設する。

二 芸術による地域文化の振興、まちづくりへの貢献

取手アートプロジェクト(TAP、取手市)、別府アルゲリッチ音楽祭(大分県別府市)など、これまで地域と連携で進めてきたまちづくりへの貢献事業を全国に展開する。

また、芸術家村、芸術によるまちづくりなど、地方自治体と連携して、芸術を社会に還元していく新たな取り組みを推進する。

演奏・展示活動の国際展開、国際発信

藝大オーケストラ等の海外での公演機会の充実を図り、国際的舞台での公演力アップを図るとともに、海外の音楽大学との交流、交歓演奏の積極的な展開を図り、世界第一級の演奏力を実現する。

また、美術分野では、海外の友好交流大学・美術館等との連携を図りつつ、海外での展覧会や創作作品・研究成果の海外発表を積極的に進め、日本美術の国際発信を図る。

交流

四芸術大学体育・文化交流会

スポーツ競技や展示会・演奏会を通して学生交流を深めることを目的とした「四芸術大学体育・文化交流会」(四芸祭/東京芸術大学・愛知県立芸術大学・金沢美術工芸大学・京都市立芸術大学)が、五月十九日から四日間、本学及び都内運動施設数カ所で開催された。

交歓会は、学生主催により毎年実施されるもので、今年で五十一回目。幹事校は輪番制で本学が担当した。会場となった各競技場では、各大学チームが白熱した試合を繰り広げた。また、学内では展覧会や演奏会が行われ、教員によるワークショップや上野公園の美術館巡りなども行われた。



外国人留学生懇談会を開催

五月二十六日、大学会館内食堂で「外国人留学生懇談会」が開催された。会には、留学生約八十名を迎え、学長、学部長をはじめとする関係教職員、チューター、大学からの招待者として、奨学団体取手市国際交流協会、本学の国際交流会館がある新松戸七丁目町内会など約百四十名が出席した。

この懇談会は、外国人留学生と大学関係者等が交流を通して相互理解を深めることを目的に、学長主催で毎年開催されているもので、学長挨拶、留学生謝辞のあと、くつろいだ雰囲気の中で新留学生紹介、ミニコンサートなどが行われ、日本語、母国語を織り交ぜながら盛会のうちに終了した。

大学間国際交流協定締結 昨年より飛躍的に増える

七月二十八日、中国美術学院(中国)と本学が芸術国際交流協定を締結した。調印式には、中国美術学院から許江院長、宋建明副院長ほか五名、本学から平山学長、宮田理事、野田理事、太田和理事、六角美術学部長が出席した。調印後の懇談では、今後の交流の進め方などについて意見交換を行った。

なお、今回の調印により本学における交流協定締結校は十三カ国地域二十七大学等となった。平成元年に中央美術学院(中国)及び中央工芸美術学院(中国、現清華大学美術学院)と締結してから平成十六年三月までに十八大学等を数えていたが、法人化を機に九大学が増えたことになる。

受章・受賞

萩岡松韻助教授が芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞

平成十七年三月十五日、音楽学部萩岡松韻助教授(邦楽)が、平成十六年度芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞した。

運営

文化財保存教育の四〇年 展開催

本学における文化財保存学に関する教育は保存修復講座の発足後四十年、そして文化財保存学専攻に改組されてから十年を経た。この間の研究成果及び最近の教育・研究の一部を紹介するため、五月十三日から十六日まで、大学美術館陳列館において、「文化財保存教育の四〇年展」が開催された。



五芸大学長懇話会で意見交換

四芸祭の初日にあたる五月十九日、本学事務局会議室において、四芸術大学に沖縄県立芸術大学を加えた五芸大学長懇話会が開催され、各大学における取り組みなど活発な意見交換が行われた。

東京芸術大学附属図書館 講演会開催

五月二十六日、附属図書館二階閲覧室において東京芸術大学附属図書館講演会、読書と芸術と人生が開催された。講演者は福原義春学長特命担当理事・資生堂名誉会長。講演では、人生にとっての読書

今回の藝大通信では映像研究科の特集を組み、創設されたばかりの映像研究科の様子をお伝えできるようになりました。この映像研究科の創設を提言したのは、新学部等構想検討部会のレポートほかで、そのレポートは、映像だけでなく舞台芸術全体を含んだ新しい時代の芸術教育の再考プランでありました。こうして私たちの夢が一步一步実現されていくのはうれしい限りです。

本誌の3月から8月までのニュース欄に見られますように、芸大はいま大きく飛躍すべくさまざまな取り組みを行っています。読者の皆様方に、映像研究科はもとよりのこと、こうした取り組みへのご理解とご協力をお願いいたします。

藝大通信編集長

船山 隆

展覧会・演奏会の最新情報は、東京芸術大学公式ホームページ (<http://www.geidai.ac.jp>) をご覧下さい。

展覧会についてのお問い合わせ
東京芸術大学美術館 Tel 03-5685-7755
NTTハローダイヤル Tel 03-5777-8600

演奏会についてのお問い合わせ
東京芸術大学音楽学部演奏企画室 Tel 03-5685-7700

演奏会チケットの取り扱い
チケットぴあ Tel 0570-02-0990
東京文化会館チケットサービス Tel 03-5815-5452
東京芸大大学美術館ミュージアムショップ Tel 03-5685-1176

新たな芸術領域の創設と融合

新たな教育研究領域の拡大とともに、高度かつ専門的な職業人や研究者の養成を図るため、平成十七年四月から「映画・アニメ・メディア映像」に関する大学院（映像研究科）の映画専攻を横浜市に開設するとともに、順次他の専攻を開設していく。

これらの活動を実現するためには、多額の資金が必要となります。本学の今後

大学サポート制度「藝大フレンズ」創設

東京芸術大学では、寄付により毎年継続的に本学の教育研究活動をご支援いただくための大学サポート制度である「藝大フレンズ」を創設しました。

「藝大フレンズ」の皆様には、本学の活動をご理解いただくために、本学の大学美術館、音楽堂における展覧会、コンサートなどの無料鑑賞その他の機会を提供させていただきます。

「藝大フレンズ」による寄付（賛助金）は、大学美術館、音楽堂の運営費のほか、大学の教育研究費、環境整備費として使わせていただく予定です。

の教育研究活動・創作活動の展開の趣旨に賛同される諸企業、個人、教職員OB、同窓生の方々などに寄付を仰ぎ、ご後援いただくことにいたしました。詳しくは、次の担当へお尋ねください。

東京芸術大学「藝大フレンズ」募金事業担当室
〒110-8714 東京都台東区上野公園二二八
TEL 03-3828-1155
FAX 03-5685-7700
E-mail: renaissance@of.geidai.ac.jp
URL: <http://www.geidai.ac.jp>

お問い合わせ先
東京芸術大学「藝大フレンズ」担当
〒110-8714 東京都台東区上野公園二二八
TEL 03-3828-1155
FAX 03-5685-7700
E-mail: friends@of.geidai.ac.jp
URL: <http://www.geidai.ac.jp>



の意味、芸術にとって読書がどういう意味を持つのかなど、氏の経験に基づいた話題で語られた。質疑応答では参加した聴衆から熱心な質問があった。



秋篠宮同妃両殿下お成り

六月二十九日、大学美術館に秋篠宮同妃両殿下がお成りになり、開催中の英国王立園芸協会（RHS）創立二〇〇周年記念「五〇〇年の大系・植物画世界の至宝展」と芸大コレクション展「柴田是真（ぜしん） 明治宮殿の天井画と写生帖」をご鑑賞されました。

仲代達矢氏が舞台芸術分野検討WGで講演

七月十二日、舞台芸術分野の教育研究組織の在り方について調

査・検討を行っている将来構想委員会舞台芸術分野検討ワーキンググループが、仲代達矢氏（俳優、無名塾主宰）を招き、学内教職員向けの講演会を開催した。仲代氏は、俳優養成所時代の体験と無名塾の立ち上げから現在までの経緯などについて、ユーモアや秘話などを交え熱心に語るとともに、芸大に演劇に関する専攻分野ができれば素晴らしいことも語った。

次期学長に宮田亮平氏

七月二十一日、東京芸術大学学長選考会議は、次期学長候補者として現理事・副学長・美術学部教授の宮田亮平氏を選考したことを公表。選考理由は、「意向聴取投票の結果を参考に、本学学長候補適任者として四人を選定し、各人に学長候補適任者となることについての意思確認をした結果、二人が辞退した。このため、辞退した者を除いた二人について経歴及び所信表明書などを参考に、慎重に審議のうえ、宮田亮平氏を適任と認め、次期学長候補者に選考し

た」としている。任期は平成十七年十二月二十一日から平成二十二年三月三十一日まで。

今年度上半期に開催された主な展覧会、演奏会記録

- 大学美術館
- 「台風被災復興支援 蔵島神社国宝展」
- 会期 三月二十五日～五月八日
- 入場者数 五九八〇四人
- 「英国王立園芸協会（RHS）創立二〇〇周年記念展」
- 五〇〇年の大系植物画世界の至宝展
- 会期 六月十一日～七月十八日
- 入場者数 三五九〇八人
- 音楽堂
- 「藝大 和楽の美 邦楽叙事詩 サノヲ」
- 開催日 五月六日（金）
- 観客数 八五〇人
- 「ラヴェル・プロジェクト全六回」
- 開催日 五月二十一日、二十八日、六月十一日、十八日、二十四日、二十八日
- 観客数 四七八四人